

ふみびと

第248号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

見上げれば 変わらぬ青空

一回一回を噛みしめる



思います。

一方で残された時間を意識していないからこそ、より広い範囲の人に自分の時間を分けてあげる余裕が持てるような気がします。

毎日を後悔しないように過ごすことも、他愛のないことに時間を割くことも、大切に生きるということなのかもしれませぬ。

それでも「いつかやろう」と思っているがらな

かなか来ていない「いつか」は少し前倒ししようかな、という気持ちで「ワニ」が起こさせてくれたように思います。

毎日大きな一歩を踏み出すことはできないけれど、毎日の小さな一歩を少し噛みしめるように味わえる日々。そんな普段忘れてしまっていたような大事なギフトをもらったような気がします。

何もなかった1日。そんな日さえ特別なと思えるような大事な毎日を。

風にゆられて誰かに届け!

風船便

いつでも誰でも参加できますが、風船便の受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単「下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ返信の筒に封下さい。事務局宛封下さい。な始まりです。



次回発送日

次回の発送日は3月の4月15日(水)となります。送りたいお手紙がある場合には、

4月13日(月)までに事務局に到着することを確認の上、余裕を持ってポストに投函してください。

マイページ

文通村ではウェブサイトにからご入村いただいた場合、マイページ入ることが出来ます。まだマイページへ入っていないという方は事務局までお問合せフォームよりご連絡ください。詳細ご返信させていただきます。!

こんな時だからこそ

を開いてみる。何気なく撮った春のにぎわいが、そこで待っていてくれるかもしれない。写真ではな

「100日後に死ぬワニ」 ツイッターなどでジワジワと読者を増やし、テレビでも紹介された4コマ漫画。100日後にまさかそんなことになるとは知らない主人公のワニの日常を残り100日から1日1話描いたこの作品は、色々と考えさせられると話題になっていくようです。どこにでもいる若者の何気ない日常、友達との付き合いや恋愛、時に将来の話をしたりする様子

は、あまりにありふれていて自分に置き換えられるような作品でした。多くの人が自分に残された時間を意識せずに過ごしていると思うのですが、そんな毎日がどんなに尊いものなのかと改めて感じます。もしも自分に残された時間があと100日だったら、きつと毎日を無駄にせず1日1日をもっと考えて大事なことにだけ時間を使うのではないかと

桜開花のニュースが届く。今年は見頃もかなり早いそうだ。いつももだったら家族や友人と連れだつて花見へ、という方も多いだろう。だが、今年はそうもいかない。お弁当を広げてゆっくりと、というのには残念ながら難しそうだ。だからといって、残念がってばかりなのもつまらない。こんな時だ

く、記憶の中の春を訪ねてみるのはどうだろう。ゆっくりと記憶をたどっているうちに、忘れていた春の景色や匂いが蘇ってくるかもしれない。いつもと同じようにはできなくても、今までの方法で春を迎える。そして、早く普段通りに季節を楽しめる日常が戻ってくるのを祈りたい。